

「檜葉町と株式会社マルトとの包括的な連携協定締結式」

7月22日、株式会社マルトと包括的な連携協定を締結しました。「日本一を目指して！檜葉町×マルトさつまいもプロジェクト」等に取り組んでおり、新たに8項目の協定に基づき連携した取組みを展開予定です。町は食による健康づくりを目指しており、株式会社マルトが実践している健康増進・食育等の社会貢献活動についても連携していく方針です。

包括的な連携に関する協定締結式



協定書を手にする安島社長と町長

<包括的な連携協定>

- ①産業振興に関すること
- ②観光及び町産品の振興に関すること
- ③次世代育成支援に関すること
- ④健康増進・食育に関すること
- ⑤スポーツの振興に関すること
- ⑥環境保全に関すること
- ⑦災害対策に関すること
- ⑧その他、地域の活性化及び町民サービスの向上に関すること

■農福連携「福祉農園」開園！～誰もが参加できる農園を目指して～

ワーキンググループでは、社会参加と地域とのつながりをテーマに「福祉農園」の設置や管理・運営等について検討を重ねてきました。地権者や農業者のご協力により、町コミュニティセンターの南側に「福祉農園」を開園し、ボランティアの皆様や社会福祉協議会が中心となり、町の新たな振興作物である甘藷の苗植えを行いました。

福祉農園は、参加体験や学習、生きがい・やりがいづくりを目的としており、福祉の支援を必要としている方とその家族、人や地域のために活動したい方等、どなたでも参加することが可能です。ご相談は☎



雑草対策を万全に栽培管理中です🔥

■檜葉町社会福祉協議会

☎0240-25-4157

担当：渡邊、佐藤、小林

令和4年8月
福島県檜葉町（産業振興課）
〒979-0696
双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6
TEL：0240-23-6104
FAX：0240-25-1234

<次号掲載予定>

- ①農業者紹介
- ②農林水産物処理加工施設
- ③バイオ液肥の実証等



営農情報ならば②③



■農産物直売所オープン！「おおやま産家（さんち）のやさい」

波倉地区で四季折々の野菜を栽培している大山さんご夫妻が農産物直売所をオープンしました。自宅前の畑には手づくりの農産物直売所やビニールハウス、かん水システム等が整備されており、ハウス内にはトマトやアスパラガスを栽培中です。ジャガイモとトマトは、お客様に品種毎の味わいも楽しめるよう5品種ずつ栽培。さらに野菜づくりに加え土づくりにもこだわっており有機質肥料等も活用しています。旬の野菜を食べ、健康管理を万全に夏を乗り切りましょう！！



販売は毎週金曜日！



旬の野菜を是非！



是非お越しください！

農産物直売所「おおやま産家のやさい」

【営業】毎週金曜日（10:00～15:00）

【住所】双葉郡檜葉町大字波倉字原131-2

【電話】090-6782-8637、080-5223-8613

※お越しいただく際は事前にご連絡をお願いします。

■ 檜葉町「子ども議会」開催 ～町の未来を提案（農水産業関連質問）～

【加藤遥生（はるき）議員】「農業団地の設置」を提案。若手農業者の育成や現代的な農業のスタイルを教えるのはどうか？

【松本町長】たくさんのニーズに応えるアイテムが詰まっている。魅力ある新しい農業と交流型農業への発展も期待できると思われる。

【加藤議員】農業団地等の位置について町長はどのあたりを想定しているか、また、交流型農業の具体的なイメージはあるか？

【松本町長】人が集まりやすく交流しやすい場所として既存の集会施設や商店、駐車場等がある場所を想定。町内外の方が農業を通じ交流の輪が広がることも大事。農業者との出会いや交流、技術習得の機会となるので検討を深めたい。



子ども議会の皆さん



風にそよぐ「アユのぼり」

【渡部大翔（ひろと）議員】「木戸川のアユ釣りPR」を提案。アユをどんどん宣伝してはどうか？

【松本町長】アユが遡上する豊かな木戸川の姿は町の財産です。昨年、アユ釣りが復活し「アユのぼり」を川等に設置してPRしている。

【渡部議員】アユ料理やポスター、CM等をつくり、町外の釣り人を呼ぶことが人口増につながるのでは？

【松本町長】ゆず太郎が町の施設や町内の方々と交流し、様々な活動にチャレンジする姿等をYouTube（動画配信ソフト）で発信している。アユ釣り等を通して町の人口拡大につながるよう宣伝していきたい。

■ 「ふくしまオーガニック通信（R4-1）」のお知らせ

県農業総合センター有機農業推進室が発行する「ふくしまオーガニック通信」に松館有機有志会の取組みが掲載されましたので、概要についてご紹介いたします。

● 現地技術実証ほの取組み

水稲の実証では、高性能水田除草機による除草に加え、堆肥と有機JAS適合肥料により収量と品質の向上を検討します。

野菜の実証では、ナスの露地実証を行い、10月までの安定した長期取りを目指します。

● 普及コラム

有機農業組織「松館有機有志会」は、昨年3月に設立され自然環境にやさしい農業を目指し、水稲や野菜・果樹の栽培に取り組んでいます。

■ 大玉村議会 ～農業用施設を視察～

7月5日、大玉村議会議員の方々が農業用施設視察のため来町しました。

意見交換では、営農再開の現状や農地集積・新規就農者支援等の取組みについて活発な意見が交わされました。

農業施設の視察については、カントリーエレベーターと水稻育苗センター、甘藷貯蔵施設について現地を案内し、各施設管理担当者から説明を行い、議員の方々からは構造や仕組み等、様々な質問等が出されました。

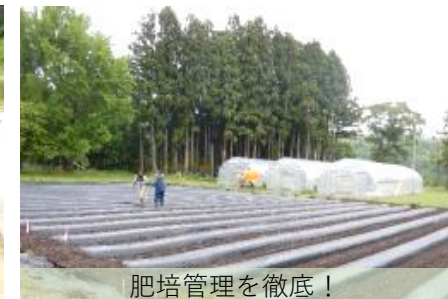
大玉村では農業振興公社を設立したほか、堆肥センターや再生可能エネルギーを活用した「再エネ・アグリパーク構想」等の取組みが先行していることから、今後も意見交換等を定期的に開催する等、情報共有を図りながら相互連携を深めていく方針です。



町の農業施設を視察した大玉村議会の皆さん



高性能水田除草機



肥培管理を徹底！

<有機農業に関するお問い合わせ>

福島県相双農林事務所双葉農業普及所有機農業担当
(高津主任)までお願いいたします。 ☎0240-23-6473

